

【継続】基幹水利施設ストックマネジメント事業費

概要

- 農業水利施設の機能を将来にわたって安定的に発揮するため、基幹的農業水利施設の長寿命化とライフサイクルコストの低減を図る効率的な保全管理を推進

予算額(当初): 1,432,594 千円

事業期間: 平成20年度～

背景/課題

【背景】

- 本県の基幹的農業水利施設(受益面積100ha以上)は856施設
- 農業水利施設の多くは、昭和40年から50年代に整備され、老朽化の進行が顕著
- 令和2年までに約半数の施設が標準的な耐用年数を超過
- 老朽化した施設の損壊による用水不足、農作物の減収等が懸念
- 揚水機場の緊急停止や送水管の破裂など、突発的な事故の発生が増加傾向

【課題】

- 限られた予算の中で、効率的な施設の機能維持・保全の推進が必要

事業内容

- 基幹水利施設ストックマネジメント事業
国営、県営土地改良事業により造成された施設の補修・更新の対策工事
【継続14地区、新規3地区】
- 機能診断・保全計画の策定
施設の劣化状況等を調査し、中長期的視野に立った保全計画を策定(当計画に基づきストックマネジメント事業を実施)
【機能保全計画策定:60施設】
- 突発事故対応
農業水利施設の劣化に起因して発生した突発事故の緊急補修工事
【要件:県造100ha以上、団造10ha以上】

事業効果

- 保全計画に基づき計画的な対策工事を実施した結果、深刻な施設の機能停止等が回避され、安定して農業用水が確保された

- 令和元年度まで実績
保全計画策定 : 416 施設
対策工事施設 : 144 施設

- 対策工事の実施事例

【対策前】



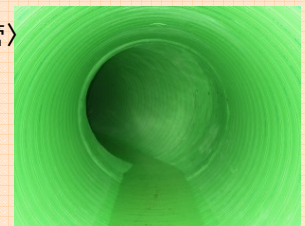
〈分水工〉



【対策後】



〈送水管〉



事業目標

・基幹水利施設における保全計画策定箇所数 H29(現状)342箇所 ⇒ R2(目標)418箇所

問い合わせ先

■ 担当課: 農村整備課 水利施設担当
■ 電話: 023-630-2497